

令和8年和泉市議会第2回定例会付託案件表

種別	番号	件名	付託委員会
報告	14	専決処分の承認を求めることについて（和泉市税条例等の一部を改正する条例（令和8年和泉市条例第18号））	総務企画委員会
議案	35	財産取得について（リモートパソコン390台運用分）	
議案	36	製造請負契約締結について（15m級ポンプ付はしご消防車機装）	
議案	37	和泉市リージョンセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	
議案	38	和泉市税条例の一部を改正する条例制定について	
議案	39	和泉市立人権文化センター条例の一部を改正する条例制定について	
議案	40	財産取得について（和泉市家庭系日常（可燃）ごみ指定袋）	都市環境委員会
議案	41	大阪広域水道企業団の共同処理する事務の変更及びこれに伴う大阪広域水道企業団規約の変更に関する協議について	
議案	42	和泉市農業体験交流施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	
議案	43	和泉市都市公園条例の一部を改正する条例制定について	
議案	44	和泉市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定について	厚生文教委員会
議案	45	大阪府後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議について	
議案	46	和泉市介護保険条例の一部を改正する条例制定について	
議案	47	和泉市任期付市費負担教育職員の給与等の特例に関する条例の一部を改正する条例制定について	
議案	48	和泉市立小学校、中学校及び義務教育学校設置条例の一部を改正する条例制定について	
議案	49	和泉市附属機関に関する条例の一部を改正する条例制定について	
議案	50	和泉市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	
議案	51	和泉市生涯学習センター条例の一部を改正する条例制定について	
議案	52	和泉市立図書館条例の一部を改正する条例制定について	
議案	53	和泉市立体育館条例の一部を改正する条例制定について	
議案	54	和泉市立運動施設条例の一部を改正する条例制定について	所管委員会
議案	55	和泉市温水プール条例の一部を改正する条例制定について	
議案	56	令和8年度和泉市一般会計補正予算（第1号）	

分割付託案件内訳

◎ 議案第56号 令和8年度和泉市一般会計補正予算（第1号）

○歳入 . . . . . 総務企画委員会

○歳出のうち

2款 総務費 . . . . . 総務企画委員会

3款 民生費 . . . . . 厚生文教委員会

9款 教育費 . . . . . 厚生文教委員会

12款 諸支出金 . . . . . 総務企画委員会

○地方債補正

社会教育施設整備事業 . . . . . 厚生文教委員会

令和8年和泉市議会第2回定例会議事日程（第1日）

No. 1

（6月8日）

日程	種別	番号	件名	摘要
1			会議録署名議員の指名について	
2			会期の決定について	
3	監査報告	9	例月出納検査結果報告（会計室扱 令和7年12月分）	別冊P. 2
4	監査報告	10	例月出納検査結果報告（上下水道部企業出納員扱 令和7年12月分）	別冊P. 16
5	監査報告	11	例月出納検査結果報告（病院企業出納員扱 令和7年12月分）	別冊P. 32
6	監査報告	12	例月出納検査結果報告（会計室扱 令和8年1月分）	別冊P. 37
7	監査報告	13	例月出納検査結果報告（上下水道部企業出納員扱 令和8年1月分）	別冊P. 51
8	監査報告	14	例月出納検査結果報告（病院企業出納員扱 令和8年1月分）	別冊P. 67
9	監査報告	15	例月出納検査結果報告（会計室扱 令和8年2月分）	別冊P. 72
10	監査報告	16	例月出納検査結果報告（上下水道部企業出納員扱 令和8年2月分）	別冊P. 86
11	監査報告	17	例月出納検査結果報告（病院企業出納員扱 令和8年2月分）	別冊P. 102
12	監査報告	18	定期監査（令和7年度第3次分）結果報告書	別冊
13	報告	3	一般財団法人和泉市文化振興財団令和7年度決算書類の提出について	P. 4
14	報告	4	一般財団法人和泉市文化振興財団令和8年度事業計画書類の提出について	P. 5
15	報告	5	一般財団法人和泉市公共施設管理公社令和7年度決算書類の提出について	P. 6
16	報告	6	一般財団法人和泉市公共施設管理公社令和8年度事業計画書類の提出について	P. 7
17	報告	7	令和7年度和泉市一般会計予算繰越明許費繰越計算書について	P. 8
18	報告	8	令和7年度和泉市一般会計継続費繰越計算書について	P. 11
19	報告	9	令和7年度和泉市公共用地先行取得事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書について	P. 13
20	報告	10	令和7年度和泉市介護保険事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書について	P. 15
21	報告	11	令和7年度和泉市水道事業会計予算繰越計算書について	P. 17
22	報告	12	令和7年度和泉市公共下水道事業会計予算繰越計算書について	P. 19
23	報告	13	令和7年度放棄した私債権等の報告について	P. 21

令和8年和泉市議会第2回定例会議事日程（第1日）

No. 2

（6月8日）

日程	種別	番号	件名	摘要
24	報告	14	専決処分の承認を求めることについて（和泉市税条例等の一部を改正する条例（令和8年和泉市条例第18号））	P. 25
25	議案	35	財産取得について（リモートパソコン390台運用分）	P. 60
26	議案	36	製造請負契約締結について（15m級ポンプ付はしご消防車艀装）	P. 62
27	議案	37	和泉市リージョンセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	P. 64
28	議案	38	和泉市税条例の一部を改正する条例制定について	P. 68
29	議案	39	和泉市立人権文化センター条例の一部を改正する条例制定について	P. 87
30	議案	40	財産取得について（和泉市家庭系日常（可燃）ごみ指定袋）	P. 91
31	議案	41	大阪広域水道企業団の共同処理する事務の変更及びこれに伴う大阪広域水道企業団規約の変更に関する協議について	P. 93
32	議案	42	和泉市農業体験交流施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	P. 96
33	議案	43	和泉市都市公園条例の一部を改正する条例制定について	P. 99
34	議案	44	和泉市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定について	P. 101
35	議案	45	大阪府後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議について	P. 104
36	議案	46	和泉市介護保険条例の一部を改正する条例制定について	P. 107
37	議案	47	和泉市任期付市費負担教育職員の給与等の特例に関する条例の一部を改正する条例制定について	P. 110
38	議案	48	和泉市立小学校、中学校及び義務教育学校設置条例の一部を改正する条例制定について	P. 113
39	議案	49	和泉市附属機関に関する条例の一部を改正する条例制定について	P. 116
40	議案	50	和泉市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	P. 119
41	議案	51	和泉市生涯学習センター条例の一部を改正する条例制定について	P. 123
42	議案	52	和泉市立図書館条例の一部を改正する条例制定について	P. 127
43	議案	53	和泉市立体育館条例の一部を改正する条例制定について	P. 130
44	議案	54	和泉市立運動施設条例の一部を改正する条例制定について	P. 133
45	議案	55	和泉市温水プール条例の一部を改正する条例制定について	P. 137
46	議案	56	令和8年度和泉市一般会計補正予算（第1号）	P. 140

## 令和8年和泉市議会第2回定例会議事日程（第2日）

（6月23日）

日程	種別及び番号	件名	摘要
1		会議録署名議員の指名について	
2		一般質問について	

## 令和8年和泉市議会第2回定例会議事日程（第3日）

（6月24日）

日程	種別及び番号	件名	摘要
1		会議録署名議員の指名について	
2		一般質問について	

令和8年和泉市議会第2回定例会議事日程（第4日）

（6月26日）

日程	種別	番号	件名	摘要
1			会議録署名議員の指名について	
2	議案	57	農業委員会委員の任命について	P. 147
3	諮問	1	人権擁護委員候補者を推薦することにつき意見を求めることについて	P. 158
4	報告	14	専決処分の承認を求めることについて（和泉市税条例等の一部を改正する条例（令和8年和泉市条例第18号））	総務企画 委員長報告
5	議案	35	財産取得について（リモートパソコン390台運用分）	
6	議案	36	製造請負契約締結について（15m級ポンプ付はしご消防車機装）	
7	議案	37	和泉市リージョンセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	
8	議案	38	和泉市税条例の一部を改正する条例制定について	
9	議案	39	和泉市立人権文化センター条例の一部を改正する条例制定について	
10	議案	40	財産取得について（和泉市家庭系日常（可燃）ごみ指定袋）	都市環境 委員長報告
11	議案	41	大阪広域水道企業団の共同処理する事務の変更及びこれに伴う大阪広域水道企業団規約の変更に関する協議について	
12	議案	42	和泉市農業体験交流施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	
13	議案	43	和泉市都市公園条例の一部を改正する条例制定について	
14	議案	44	和泉市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定について	
15	議案	45	大阪府後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議について	厚生文教 委員長報告
16	議案	46	和泉市介護保険条例の一部を改正する条例制定について	
17	議案	47	和泉市任期付市費負担教育職員の給与等の特例に関する条例の一部を改正する条例制定について	
18	議案	48	和泉市立小学校、中学校及び義務教育学校設置条例の一部を改正する条例制定について	
19	議案	49	和泉市附属機関に関する条例の一部を改正する条例制定について	
20	議案	50	和泉市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	
21	議案	51	和泉市生涯学習センター条例の一部を改正する条例制定について	
22	議案	52	和泉市立図書館条例の一部を改正する条例制定について	
23	議案	53	和泉市立体育館条例の一部を改正する条例制定について	
24	議案	54	和泉市立運動施設条例の一部を改正する条例制定について	
25	議案	55	和泉市温水プール条例の一部を改正する条例制定について	
26	議案	56	令和8年度和泉市一般会計補正予算（第1号）	所管 委員長報告
27	議案	58	財産取得について（電子黒板機能付大型提示装置）	追加 P. 2
28	議案	59	令和8年度和泉市一般会計補正予算（第2号）	追加 P. 4
29	議案	60	令和8年度和泉市水道事業会計補正予算（第1号）	追加 P. 8
30	議員提出 議案	4	ドナーミルクの利用拡大を求める意見書	別紙
31	議員提出 議案	5	すべてのケアラーに対する包括的な支援と法的枠組みの整備を求める意見書	別紙
32	議員提出 議案	6	核兵器禁止条約第1回再検討会議へのオブザーバー参加を求める意見書	別紙
33	議員提出 議案	7	皇室の伝統に基づく安定的皇位継承を確保するための法整備の早期実現を求める意見書	別紙

令和8年6月26日

和泉市議会議長  
山本秀明 殿

提出者

吉川 茂樹 松田 義人 谷上 昇 坂本 健治 友田 博文  
原 重樹 森 久往 阿部 博 飯阪 光典

ドナーミルクの利用拡大を求める意見書

標記の議案を別紙のとおり会議規則第13条の規定により提出する。

(別紙)

議員提出議案第4号

ドナーミルクの利用拡大を求める意見書

我が国では、出生時の体重が2,500グラム未満の低出生体重児が、約10人に1人の割合で生まれている。特に、医療的なケアや継続的な支援が必要とされる1,500グラム未満の極低出生体重児にとっては、感染症や合併症等のリスクを減らすため、出産後すぐに母乳を与えることが有効とされている。

しかし、早産や帝王切開など母体の健康状態等により、母親から十分な母乳が得られない場合があり、寄付された母乳である「ドナーミルク」を提供する「母乳バンク」の取組は極めて重要である。

現在、我が国では、一般社団法人日本母乳バンク協会と一般財団法人日本財団母乳バンクの2法人が国内3箇所の母乳バンク拠点の運営を担い、ドナーミルクを医療機関に提供しているが、法的な仕組みとしては位置付けられていない。また、ドナーミルクの使用に伴う費用等が実質的に医療機関の負担となっていることに加え、ドナー登録における事務処理等が登録施設の拡充を阻んでいると考えられる。

よって国においては、低出生体重児等の命を守り、その健やかな成長を支える観点から、次の事項について所要の措置を講じられるよう強く要望する。

記

1. 医療機関がドナーミルクを必要とする乳児に十分提供できるよう、ドナーミルクの法的位置付けを一日も早く明確化すること。
2. ドナーミルクを安定的に供給するため、母乳バンクの運営、ドナーミルクの殺菌処理及びドナーの検査等に対する支援を行うこと。
3. ドナー登録者数を増やすため、産婦健康診査時や産後ケア等での周知機会の拡大を進めること。
4. ドナーミルクの重要性及び正しい知識について、医療現場及び国民に対し広く普及啓発を図ること。

以上、地方自治法第99条に基づき意見書を提出する。

令和8年6月26日

大阪府和泉市議会

内閣総理大臣、厚生労働大臣、内閣府特命担当大臣（こども政策） 殿

令和8年6月26日

和泉市議会議長  
山本秀明 殿

提出者

吉川 茂樹 松田 義人 原 重樹 森 久往 阿部 博  
飯阪 光典

すべてのケアラーに対する包括的な支援と法的枠組みの整備を求める意見書

標記の議案を別紙のとおり会議規則第13条の規定により提出する。

(別紙)

議員提出議案第5号

すべてのケアラーに対する包括的な支援と法的枠組みの整備を求める意見書

近年、家族等の介護や世話を無償で担う「ケアラー」の負担が深刻な社会問題となっている。ケアラーが抱える問題は、肉体的な疲弊にとどまらず、精神的な孤立、経済的な困窮、そして学びや就業の機会喪失など、人生のあらゆる局面に多大な影響を及ぼしている。とりわけヤングケアラーについては、法改正により、国および地方公共団体による支援が法的に義務付けられたところである。

一方で、ケアラーは子どもに限られるものではなく、働きながら家族を介護するワーキングケアラー、育児と介護を同時に担うダブルケアラー、高齢の配偶者を支える高齢ケアラーなど、その実態は多様化・複雑化しており、誰もが当事者となり得る状況にある。

国においても、「経済財政運営と改革の基本方針2025」において、年代や就労の有無を問わずケアラー支援の必要性が明記されたが、現在の取組は地方公共団体への支援にとどまり、ケアラー全体を対象とした包括的な法制度は未だ整備されていない。

現在の支援は、介護、障害、子育てなどの制度の枠組みごとに分かれており、ケアラー本人への支援は十分とは言えず、地域や自治体によって支援内容にも差が生じている。

よって、国においては、すべてのケアラーが個人の尊厳を保ち、社会から孤立することなく、安心して生活し、就労や学びなど社会参加を継続できるよう、下記の事項について速やかに取り組むよう強く求める。

#### 記

1. ヤングケアラーに限らず、すべてのケアラーを対象とした包括的な支援の基本理念を明確にすること。
2. ケアラーを支援するための実態把握、相談支援、情報提供、休息の確保等について、分野横断的に取り組む法的枠組みを整備すること。
3. 地方公共団体が地域の実情に応じた支援を安定的に実施できるよう、必要な財政措置を講じること。
4. ケアラー支援に関する国民の理解を深めるための普及啓発を推進すること。

以上、地方自治法第99条に基づき意見書を提出する。

令和8年6月26日

大阪府和泉市議会

内閣総理大臣、厚生労働大臣、文部科学大臣、内閣府特命担当大臣（こども政策）、  
財務大臣 殿

令和8年6月26日

和泉市議会議長  
山本秀明 殿

提出者

吉川 茂樹 松田 義人 原 重樹 森 久往 阿部 博

核兵器禁止条約第1回再検討会議へのオブザーバー参加を求める意見書

標記の議案を別紙のとおり会議規則第13条の規定により提出する。

(別紙)

議員提出議案第6号

核兵器禁止条約第1回再検討会議へのオブザーバー参加を求める意見書

現在、国際社会では、ロシア連邦によるウクライナ侵略や中東情勢の悪化を背景に、極めて深刻かつ緊迫した状況が続いており、核保有国による核威嚇や核兵器使用の懸念が一段と高まっている。

こうした状況の下、核兵器の開発・保有・使用を全面的に禁止し、被害者支援や環境回復を規定する核兵器禁止条約(TPNW)は、核兵器の非人道性を国際法上明確に位置づける重要な枠組みとして、その意義を一層強めている。

同条約は2021年1月22日に発効し、本年2026年で5年を迎える。これまでに締約国会議が3回開催され、核軍縮の具体的進展、被害者支援、環境回復など、核廃絶に向けた具体的議論が積み重ねられてきた。

そして2026年11月には、発効後初となる第1回再検討会議が開催される予定であり、これまでの取り組みを検証し、核なき世界に向けた国際的議論を前進させる重要な節目となる。

核兵器の使用は、人道上深刻かつ回復不能な被害をもたらす、国際社会の安全と人類の存続に重大な脅威を与えるものである。また、核兵器のない世界の実現は、世代を超えて取り組むべき最重要課題である。

唯一の戦争被爆国であるわが国は、被爆の実相を国際社会と共有し、核兵器の非人道性への理解を広げる歴史的責務を負っている。しかし、現時点で日本は同条約を締結しておらず、国際的議論への関与が十分とは言えない。

こうした中、核兵器禁止条約第1回再検討会議へのオブザーバー参加は、日本が核廃絶に向けた明確な意思を国際社会に示す重要な一歩となる。オブザーバーとして参加することは、被爆の実相を世界に突きつけ、核兵器の非人道性を揺るぎない事実として国際社会に刻み込む行動であり、同時に日本が平和国家として歩む決意を、より確固たるものとして示すことにつながる。

よって、和泉市議会は日本政府に対し、核兵器禁止条約第1回再検討会議へオブザーバーとして参加し、核兵器廃絶に向けた国際的議論に積極的に関与することを強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出する。

令和8年6月26日

大阪府和泉市議会

内閣総理大臣、外務大臣 殿

令和8年6月26日

和泉市議会議長  
山本秀明 殿

提出者

吉川 茂樹 松田 義人 谷上 昇 坂本 健治 友田 博文  
森 久往 阿部 博 飯阪 光典

皇室の伝統に基づく安定的皇位継承を確保するための  
法整備の早期実現を求める意見書

標記の議案を別紙のとおり会議規則第13条の規定により提出する。

(別紙)

議員提出議案第7号

皇室の伝統に基づく安定的皇位継承を確保するための  
法整備の早期実現を求める意見書

皇室は、わが国固有の歴史と伝統の象徴であり、国民統合の象徴として、国民の間に深く根差している。皇位が連綿として継承されてきたことは、わが国の国体の根幹であり、その安定的な継承を確保することは、国家の安寧と将来にとって極めて重要な課題である。

現在、皇位継承資格を有する皇族方は少数であり、次世代の皇位継承者は秋篠宮悠仁親王殿下のみという現状に鑑みれば、安定的皇位継承の確保は一刻の猶予も許されない喫緊の国家的事案である。

政府においては、「天皇の退位等に関する皇室典範特例法案に対する附帯決議」に基づき、有識者会議による報告書が取りまとめられ、現在、国会においても各会派間での協議が進められている。皇位継承の在り方は国家の基本に関わる極めて重要な問題であり、わが国が古来より守り伝えてきた「男系継承」の重みを尊重した上での、真摯な議論が求められる。

皇族数の確保のための具体的方策としては、有識者会議の報告書において、「内親王・女王が婚姻後も皇族の身分を保持すること。ただし、その配偶者と子は皇族としない」こと、および「皇族には認められていない養子縁組を可能とし、皇統に属する男系の男子を皇族とする」ことの二案が示されており、これらはすでに多くの党・会派において共有可能な論点となっている。

よって、当議会は、国会および政府に対し、皇族数の減少という現実に真摯に向き合い、これらの方策を政争の具とすることなく、超党派による真摯かつ速やかな論議を促進し、今特別国会において皇室典範改正を実現することを強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出する。

令和8年6月26日

大阪府和泉市議会

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官 殿